



第32回 ほしのいえ 講演とミニライブ 遠い道を歩き続ける

2025年12月17日(水) 18:30~21:00 (開場18:00)

ムーフ町屋3Fホール (地下鉄千代田線・京成線 町屋駅下車1分)

集会協力券 2000円

講演 徳田靖之さん

ミニライブ 中川五郎さん

トーンチャイム

(シルベスター ベル クワイア)

主催:「ほしのいえの集い」実行委員会

問い合わせ先

「ほしのいえ」TEL/FAX:03-3805-6237(火・木・土 13時~16時)

携帯:090-4396-7446(三上)

振替口座 番号:00170-2-556971 口座名:ほしのいえ

ホームページ <http://hosinoie.net/> メールアドレス info@hosinoie.net

第32回 ほしのいえ 講演とミニライブ 遠い道を歩き続ける

今年は1945年の敗戦から80年の節目の年。

「武力で平和はつくりえない」との歴史の事実を忘れたかのように2025年の現実には戦争が続き、軍拡、分断が広がっています。

「非情の中に抹殺されるのは常に無名で、平凡な、しかし真摯に生きようとしている人間だということ」(9・11事件で長男を失った住山一貞さんの言葉—9月29日東京新聞夕刊「一首ものがたり」から引用)を学んだのに平和を求める声はかき消されそうです。

地球家族、支え合って生きて行こうではなく、自国中心、排除の論理がはびこり世界を変えています。

なぜか独裁者に魅力を感じる人々が増えています。しかし独裁者が生き延びられなかったことは歴史が証しています。

ほしのいえはだれもが、かけがいのない存在、ありのままの自分でいいと「平らな関係」を求めて活動してきました。国籍や社会的身分で差別されることなく、みんなが生きやすい社会になることを強く願っているからです。

遠い道を歩き続ける私たちの前に、時には大きな困難が立ちふさがります。

でも、あきらめず声をあげ続ける人たちを知っています。このつながりをしっかり固めて、希望をもって一緒に歩きます。

出演者紹介

中川五郎 (なかがわ ごろう)



1949年大阪生まれ。

60年代半ばからアメリカのフォーク・ソングの影響を受けて、曲を作ったり歌ったりし始め、68年に「受験生のブルース」や「主婦のブルース」を発表。70年代に入ってから音楽に関する文章や歌詞の対訳、80年代には雑誌の編集、90年代に入ってから小説の執筆やボブ・ディランの歌詞、チャールズ・ブコウスキーの小説などさまざまな翻訳も行っている。現在は歌うことが活動の中心で、新しい歌を作り、日本各地でライブを行なっている。

最新アルバムは2017年の『どうぞ裸になって下さい』(コスモス・レコード)。2021年秋に日本のフォーク・ソングの歴史と絡めて自分の半世紀に及ぶ活動をまとめた本「ぼくが歌う場所」(平凡社)を出版した。

徳田靖之 (とくだ やすゆき)



1944年、大分県別府生まれ。

「らい予防法」違憲国家賠償請求訴訟西日本弁護団代表、ハンセン病市民学会共同代表、菊池事件再審弁護団共同代表、飯塚事件再審弁護団共同代表 他

2025年12月17日(水)

18:30~21:00 (開場18:00)

ムーブ町屋3Fホール

(地下鉄千代田線・京成線 町屋駅下車1分)

<http://www.hosinoie.net/>

